

雲雀っ子

令和5年11月22日発行

ねばり強く やりぬく子 ・自分で考える
・仲間と助け合う
・最後までやりきる



沢山のチャレンジと沢山のできた!があった修学旅行

校長 奥村 美樹恵

11月9日、10日と6年生の修学旅行がありました。「学びながら楽しみ レベルアップできる修学旅行にしよう ～絆・考動・マナー～」をスローガンに掲げ、修学旅行前から自分達の学校生活を見直し、レベルアップするために取組をしてきました。例えば、時間を意識するために互いに呼びかけ合って行動をしたり、元気よく相手を見ながら挨拶をしたり。全校のお手本となる姿に高まって修学旅行を迎えました。

晴天の1日目、法隆寺に到着し、ガイドさんから五重塔の説明を聞いた子ども達は「すご～い」「1400年前にこれを人の手だけで作ったんだよね。すごいなあ」とつぶやいていました。五重塔の底は上に行くほど塔身の幅が狭くなっていて、大変バランスのとれた世界一美しい建造物とも言われています。そんな説明を受けた子ども達は五重塔の前にしゃがみ込み、下から上を見上げ、美しさを味わう姿も見られました。

2日目は大雨でしたが、自分達で計画を立てたタクシー研修では、運転手さんから説明や見所を聞き、逆に質問をしながら学びを深めている姿も見られました。

歴史を目一杯味わい、本物を肌で感じた時の子ども達は、目を輝かせ、嬉しそうな表情でした。一人一人の心が動いた瞬間でした。

バスの中では事前に計画していたレクリエーションを行ったり、お話ししながらおやつタイムを楽しんだり。移動中も楽しい時間が過ごせたようです。

何よりすごいと感じたのは、いくら仲間同士盛り上がりながらも、どれだけレクリエーションを楽しんでいても、予定の時刻になるとすぐに切り替え、相手の話を聞く、次の活動に切り替える、それも大人からの声かけではなく、自分達で時計を見て行動ができました。またガイドさんが話をしていても、聞かれていることに対して、一人一人が感じたこと、考えていることをきちんと言葉で返し、コミュニケーションを取っていくことで、温かい空気が生まれていました。

大人の力を借りず、出来るところまでは自分達で頑張ろう!という気持ちがいろんな所で見られました。いろんなチャレンジがいっぱいありました。そのチャレンジがあって、子ども達なりの「できた!」という満足感、充実感、達成感が味わえた2日間になったのではないかと思います。

様々な経験や活動は、子ども達の成長になくてはならないものだ改めて実感した2日間でした。



地域の方から頂いた寄付金で、本を購入しました

以前学校だよりでもご紹介しましたが、地域の方から「子ども達に本を…」と寄付金を頂きました。前期図書委員長の小酒井さんが、頂いた寄付金を有効に活用するために、「皆が読みたい本を買おう!」とタブレットでアンケートを作り希望の多かったジャンルや本をピックアップし、約30冊発注することができました。11月13日(月)から借りることができ、全校の子ども達が嬉しそうに本を選び、見事借りることができた子ども達は、大変喜んで帰って行きました。好きな本から読書に親しみ、世界を広げて行ってほしいと願っています。

